

海洋プラスチックゴミ問題

海洋プラスチックゴミ問題ってなに？

ペットボトルなどのプラスチック製品をポイ捨てしたり、適切な処分がされないことにより海洋プラスチックゴミになります。

海洋プラスチックによるごみ問題は、そうしたプラスチックごみが海洋汚染や生態系に及ぼす影響を問題視している。

年間800万トンものプラスチックゴミが海に流されていると推計されています。

→東京スカイツリー 222基分 / ジャンボジェット機 5万機分

このままいくと…

2050年 プラスチックゴミの重量 < 魚の重量

予測されています。



マイクロプラスチックとは？



種類は二つ「一次・二次マイクロプラスチック」

マイクロプラスチックのサイズは5 mm以下。

ただ、元から小さいプラスチックもあれば、海に流れ出すまでに削られ、段々と小さくなったプラスチックもあります。

前者が一次、後者が二次マイクロプラスチックです。

一次マイクロプラスチック…元から小さいプラスチックを指します。

例えば歯磨き粉になど入っているスクラブ（ツブツブしたもの）が挙げられます。

排水溝を通じて、下水道を通過し、海に流れ出てしまえばこれらの回収は困難です。

二次マイクロプラスチック…ペットボトルやビニール袋が海に流れ着くまでの間に紫外線や岩などに衝突する影響を受け、細分化されていき、マイクロサイズになります。ペットボトルが海洋中で自然分解されるまでにはおよそ400年かかると言われています。

プラスチックゴミが与える影響

海洋生物がプラスチック製品を餌と間違えて取り込んでしまい

- ・体内で消化されないため内部を傷つける
- ・腸閉塞を起こして死んでしまう



といった事例もあります。

プラスチックごみは海洋の汚染だけではない！

海に生きる生物や産業、**私たちの体**にまで影響を与えます。

食物連鎖を通じて私たちの体内に蓄積されているのではないかと懸念もされています。

食物連鎖 ～プラスチックゴミ被害～



紫外線や波の力 +



プラスチックゴミ

破片化



マイクロプラスチックゴミ

餌と間違えて食べる



魚貝の体内に蓄積されたプラスチックゴミを間接的に摂る恐れ



プラスチックゴミが与える影響

最近では、WWF(世界自然保護基金)が、

「1週間に1人平均5gのプラスチックを体にとり入れていると見られる」という報告を出しました。

健康に影響があるかどうかは、各国の研究者が調べているところです。

街中でポイ捨てされたものも一部は、海のごみになります。

雨と一緒に側溝に流れ込んで川に流れていく。それがやがて海に流れ込む。

海洋プラスチックごみが増えることで、

プラスチックに付着する有害物質やプラスチックそのものの有害性により、海はどんどん汚れていきます。

(出典：[環境省公式サイト](#))